

## クロス復元クリーニングと一般クリーニング工法との比較

- クロス復元クリーニング®は汚れ(油煙・タバコのヤニ汚れなど)の分解、抗菌、抗カビ、抗臭に驚異的な効果を発揮します。
- クロス復元クリーニング®は人にとってよい環境空間をつくり、アレルギー・アトピー・環境ホルモン・カビなどを改善する機能があります。

自然がもっている「浄化能力」を最大に活用したバイオレメディエーション技術によるクロス復元クリーニング®は、弊社独自の工法(特許第4260576号)であり、クロス復元クリーニング®は登録商標です。

項目	創研のクロス復元クリーニング®	従来一般クリーニング工法
汚れを除去する原理	●還元し、バイオ(微生物)によって汚れを分解・消滅させる。	●化学合成洗剤で汚れを浮かして「拭き取り」除去する
残留	●残留することがゼロに等しい	●化学合成洗剤が残留し、後にクロスが黄色化する
日焼け	●除去できる。(経年による)	●除去できない
臭気	●臭気を <b>驚異的に分解</b> する。 オリジナル溶液SBSに含まれている微生物により、分解消滅する。	●タバコ臭、室内の特異臭の除去は、通常の洗浄剤では限界がある。 ●洗浄剤の臭気が残留・混合し異臭が発生することもある。
スス汚れ	●殆ど除去できる。	●スス汚れとは、静電気によって空気中のコークスがクロス面に付着すること。コークスはマイクロ単位でクロス面の凹凸に付着するので、通常殆ど除去できない。また、クリーニング後のムラの主な原因となる。 ●スス汚れには、一般的に漂白剤が使用されるが、紫外線及び高温によって、変色することが多い。さらには、風合いを損ね、脱色させることもある。
カビ	●嫌気性微生物及び食中毒菌・カビなどを分解・除去する。 ●オリジナル溶液SBSに含まれている善玉菌から発生する酵素の力により、施工後の防除効果がある。 ●クロス表面を傷めることが全く	● <b>塩素系の溶液では、カビの完全な除去はできない。</b> 場合によっては、 <b>有害化学物質が発生し、シックハウス症候群の直接的な原因となる。</b> ● <b>化学薬品を使用すると、それ自</b>

	無い。	体が栄養素となり却ってカビが増殖する。 ●漂白作用によりクロスが損傷する。
施工ムラ	●ほとんど無い。	●いかなる方法でもムラが出る。クリーニングを完了、乾燥後にあらゆる方面にムラが発生し、修復するのは不可能に近い。 例えば、床面のクリーニングをし、乾燥した後は、ワックス等の除去ムラが目につく。それを覆い隠すためには、光沢のある樹脂ワックスを塗ることが最も簡易な方法である。 すなわち、フッ素を主原料としたコート剤などをクロス面に塗布し、クリーニング後のムラを極力目立たせないようにしようとする工法が多い。しかし、その方法では本来持っている風合い等を著しく損ねることになる。
色落ち	●漂白剤を使用しないため色落ちはない。 ●クリーニング後に色柄が美しく復元されるのが特長のひとつである。	●漂白効果のあるものを使用するので、色落ちが起こることが多い。
洗浄剤がクロス以外に与える影響	●ほとんどない。	●粉末状のものを水で希薄して使用する場合は洗浄剤がカーペット、木材などに付着すると、除去するのに非常に困難となる。 ●シミ、色落ちなどが起こる場合がある。
洗浄剤がクロス面に残留する影響	●微生物により分解・消滅する。(残留しない)	●粉末状のものを水で希薄して使用する場合は洗浄剤が粉状になって、クロス面に残留することが多い。
補修	●少量の水気のみを使用するので、クロスジョイントを傷めない。 ●バキューム等を使用しないので、クロスを剥がしたりすることもない。 ●一部、剥れ・破れ等があれば、テープ、糊等を用いて補修する。	●ハンドポリッシャー、大量の水気バキューム等の吸引によってクロスが傷んだり、剥れたり、縮んだりした時は、新規に貼りかえるしか方法がない。

作業後の使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SBSが乾燥中は臭気を感じることもあるが、気化が完了(乾燥)した後は(2～3時間後、空気の換気性にもよるが)殆ど臭気が残らない。</li> <li>●ホテル・レストラン等商業施設は当日使用が可能であり、効率的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タバコ、ヤニ臭が残ることが多い。</li> <li>●残留した洗浄剤と反応して異臭が発生することもよくある。</li> </ul>
--------	---	---

### ■VOC 測定

復元クリーニング®施工前後に室内のVOC(有害化学物質)の量を測定しました。クリーニング前の0.17ppmが微生物により分解され、7日後には0.02ppmになりました。(厚生労働省指針はトルエン0.07ppm以下)

	クリーニング前	クリーニング1日目	クリーニング3日目	クリーニング7日目
ppm	0.17	0.04	0.03	0.02
温度/湿度	20.4°C/61RH	20.6°C/67RH	22.3°C/65RH	23.9°C/67RH

『環境・健康を指向したリニューアルに関する調査研究』平成16年3月  
都市基盤整備公団 総合研究所技術センターの資料による抜粋